

水之上の暮らしを楽しむ 水之上生活笑楽校！

取組の一例（④ 水之上地区）



- 開催 平成25年1月20日（日）
- 場所 水之上地区公民館
- 参加 地域住民を中心に42人
- テーマ 子どもから高齢者まで
楽しく参加できるイベント
- 講師 地元学ネットワーク主宰
吉本 哲郎氏



地域の底力は
家庭料理にこそ
あらわれます



前日の打合せ



のぼり旗を設置し盛り上げました 水之上中学校の沿革を振り返る



和気あいあいと過ごす参加者



持ち寄った料理の一例



料理の紹介と一言



楽しい話題の提供



じゃんけん大会で盛り上がりました



参加者へのアンケート結果と報告

CHECK 大野地区概要

垂水市東部（市街地から県道71号線を車で約20分）の高隈連山の標高約550mに位置し、大正3年の桜島大噴火と戦後の入植者により開拓された歴史を持っています。現在約60世帯が暮らしています。気候を生かした農林畜産業が盛んなほか、大野ESD自然学校（旧大野小中学校）には地区の魅力を探り、体験学習などに市内外から多数の人々が訪れています。また、鹿児島大学演習林に近く、学生との交流も盛んで伝統芸能の継承も行われています。



平成25年度鹿児島県コミュニティづくり推進大会（2月7日（金）、県民交流センター）。テーマは『みんなで創ろう 元気あふれるコミュニティの「わ」～日本一のくらし先進県を目指して！～』

大学の学生の応援を得て保存に努めている棒踊り継承活動など、地区の特性や社会資源を生かした地域活動が高く評価されました。本市では今後地域と連携したまちづくりを推進してまいります。

2月10日（月）、田之上光雄大野地区公民館長が市長室を表敬訪問されました（写真）。同地区は、鹿児島県コミュニティづくり推進協議会（会長：伊藤祐一郎県知事）が実施する優良団体表彰の地域コミュニティ組織部門で、平成25年度の最上位となる会長賞を受賞されました。市のモデル地区として「大野づくり計画」を策定し、住民総出で開催している大野原いきいき祭りや、鹿児島大学の学生の応援を得て保存に努めている棒踊り継承活動など、地区の特性や社会資源を生かした地域活動が高く評価されました。本市では今後地域と連携したまちづくりを推進してまいります。

Tarumizu NEWS
垂水市ではこんな取組を行っています
2

おめでとうございませう。
大野地区公民館
コミュニティづくりで表彰

企画課
地域政策係
☎内線 245

CHECK 空き家有効活用推進事業支援補助金

市は空き家バンクへ登録が可能な物件に対し、登録時における家財道具等処理費用の補助を行っています。

■目的
空き家内の不要な家財道具等の処理費用を補助することで、空き家バンク登録物件数の増加を促し、交流の拡大及び定住促進による地域の活性化を図ることを目的としています。

■補助額
家財道具等の処理に必要な費用の3分の2（上限50,000円）
※予算が無くなり次第終了

■補助対象
次の全ての要件を満たす場合。
①空き家バンクに登録する家屋であること（売買、賃貸を問いません）。
※賃貸希望で老朽化が激しい場合等、補助対象とならない場合があります。
②市税等を滞納していないこと。
③過去にこの補助金の交付を受けた家屋でないこと。
※申請は、家財道具等を処分される前に行ってください。



◎売却物件：旧垂水公民館
空き家バンクへの登録や利用、補助金制度など、ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。なお、家屋の清掃作業や草刈り等につきましては、業者のご紹介をいたします。

垂水市では、空き家バンクとして市内の空き家を登録し、市のホームページ等に掲載して入居希望者へ紹介しています。登録をされた方は、入居者へ空き家の売却・賃貸を行うことで収入が得られます。空き家は放置すると老朽化が進みます。空き家の有効活用をお願いします。

■登録可能物件 垂水市内の一戸建住宅で売却、賃貸が可能なもの
■登録者 対象物件の売却、賃貸が可能な人

Tarumizu NEWS
垂水市ではこんな取組を行っています
3

空き家バンク制度をご活用ください。

企画課
地域政策係
☎内線 245

NPO法人 森人くらぶ 活動の風景

H25年度



芋プロジェクト

地域産業支援事業



太野原地区事務所の
改築作業



都市農村交流及び国際交流事業



地域の教育・福祉・文化
の振興支援事業



鹿児島県



人材育成及び研修



お問い合わせ先

住所 〒891-2104
鹿児島県 垂水市田神3678番地
PCアドレス info@morinchi-club.or.jp

特定非営利活動法人

森人くらぶ

森と里と人をつなぐ



NPO法人 森人くらぶの紹介

沿革

「森人くらぶ」の前身である「たかくま森人クラブ」は、「大野ESD自然学校の活動にボランティアスタッフとして参加することにより、児童・生徒・一般市民・地域住民などとの交流体験を通して、環境教育、ESDへの理解を深めること」を目的として、2006年の自然学校の開設と同時に鹿児島大学の非公認サークルとして誕生しました。そして自然学校の活動により、参加した学生たちは環境教育やESDの実践的な学びの中から自身を成長させてきました。

このように自然学校のボランティアとしての活動が中心であった「たかくま森人クラブ」は、2013年4月よりNPO法人「森人くらぶ」として、農山村でのソーシャルビジネス起業という新たなステージへチャレンジすることになりました。



森人くらぶ事務所



法人の目的

森人くらぶは、高隈演習林の森林・自然と大野地区開拓の歴史の中で育まれた暮らしの文化を原点として地域の産業・教育・福祉・文化に貢献する新たなソーシャルビジネスを展開することにより、豊かで持続可能な農山漁村社会の創出に貢献することを目的としています。

特徴

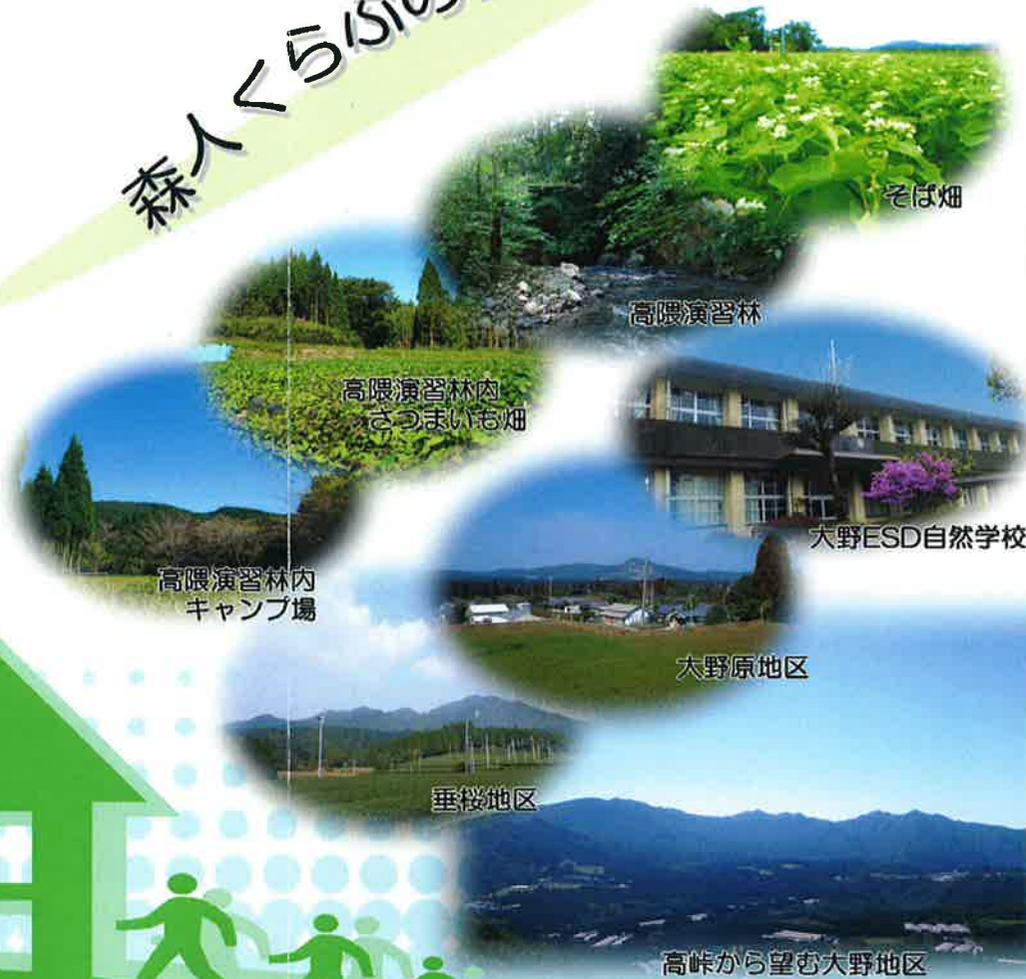
森人くらぶは、その経営の一翼を学生が担うことにより、農山漁村でのコミュニティービジネス起業の実践的な学びの場として、持続可能な農山漁村社会の創出に貢献できる人材育成（大学教育と関連）を行うことも大きな特徴です。

また、森人くらぶは、大野地区・鹿児島大学・垂水市と密接に連携・協力しながら運営しています。

実施事業

1. 地域産業支援事業
2. 地域の教育・福祉・文化の振興支援事業
3. 自然学校支援事業
4. 環境教育事業
5. ツーリズム事業
6. 都市農村の交流及び国際交流事業

森人くらぶのフィールド



そば畑

高隈演習林

高隈演習林内
さつまいも畑

大野ESD自然学校

高隈演習林内
キャンプ場

大野原地区

垂水地区

高隈から望む大野地区

